



速報新聞

キマダレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

目標に向かって真剣に

④

女子バドミントン部は1年生9人と2年生13人、3年生10人の合計32人で活動している。普段の活動は体育館を使う。練習し、火曜日は外練習、木曜日はオフだそう

だ。体育館では基礎打ちやノック、試合形式の練習、外練習では約3kmの彦根城お堀の外周を走

たり、素振りや屈伸をしたりして技術の向上に励んでいるそうだ。女子キャプテンの山根久美さん(3ー5)は部の雰囲気や「明るく元気な一生懸命活動して

いる」と笑顔を見せた。バドミントンを楽しむこと。上下間のコミュニケーションも大切にしている」と笑顔を見せた。



▲懸命に練習に取り組む女子バドミントン部

また部を支えている人について「この部活にはマネージャーはいないが、団体戦では選手以外の人たちが応援などを頑張ってくれている」と話した。

顧問の本池篤先生は女子バドミントン部について「飛びぬけて能力が高い選手はいないが、総合力があり、まとまっているチームで試合での集中力も高い」と分析された。

女子バドミントン部は現在の団体戦では3連続でベスト8に入っている。山根さんは春の大会に向けて「団体戦ではベスト8を守り、個人戦では行けるところまで勝ち進んでベスト16に入りたい。私はもうすぐ引退なので後輩に良い印象を残して悔いの残らないようにしたい」と目標を掲げた。

男子バドミントン部はマネージャー2人を含めて1年生16人、2年生19人、3年生7人の合計42人で活動している。

男子バドミントン部

そうだ。

男子キャプテンの村上創一朗君(3ー4)は活動のモチベーションを「初心者でも経験者に追いつけること」と話し、部の雰囲気や「楽しむときは楽しみ、真剣なときは真剣にやる」と答えた。また活動で大変なことについては「人数が多いので場所が狭くなってしま

うこと」と話した。ムードメーカーの油谷俊也君(3ー4)はキャプテンから教わったギヤグで部を盛り上げていそう。大会に向けて「試合に出ないときも応援をしっかりとやっていきたい」と意気込んだ。



▲熱心に練習する男子バドミントン部

男子も女子と活動日は同じで、体育館ではフットリクや基礎打ちを行い、外練習ではラ



▲男子バドミントン部マネージャーの北村さん(左)と古松さん

縁の下の力持ち

マネージャーとして水筒の水汲みなどの仕事をしながら支えている。北村夏海さん(3ー7)と古松菜北さん(2ー2)。普段意識していることについて北村さんは「部員が休んでいるときにこそ動く。部員が水が無くならないようにと、古松さんは『笑顔で迎える』と話し、また選手に向けて北村さんは『楽しんでほしい』と話し、でもやっぱり一番は『楽しんでほしい』と、古松さんは『大会が近づいてきているので、残りの時間を有効に使ってほしい』とメッセージを送った。